

災害に備えしっかりと

岐阜・岩野田小で防災出前講座

一九七六年九月十二日の降った大雨の影響で安八町「九・一二豪雨災害（安八水害）」で浸水した岐阜市岩野田小学校で二日、地元出身の研究者らによる防災の出前講座があり、六年生六十二人が聞き入った。安八水害では、短期間に

講座は各地で防災の授業を開く「中部地域づくり協



災害に備えるよう呼び掛ける神谷さん
岐阜市の岩野田小で

会」（名古屋市の地域づくり技術研究所が初めて担当。地元出身の犬飼一博所長（六〇）と、近くに住む神谷政人研究員（六六）が講師を務めた。

神谷さんはスクリーンに投影して被災時と現在の写真と比較。避難が遅れると身動きしづらく、流れてきた物だけがをす恐れもあるとし「毎年、日本のどこかで水害が起きている。一分一秒でも早く避難しよう」と呼び掛けた。

北川結花さん（三三）は「災害は遠い世界の出来事ではないと分かった。避難の備えをしっかりしたい」と感想を語った。

きょう防災用品展示
三日午前十時～午後一時
には、体育館で豪雨災害の写真パネルや防災用品の展示もある。（藤原啓嗣）